



# 掛合中だより



雲南市立掛合中学校  
第9号  
2025.6.16(月)  
文責 根本登三男

学校教育目標：ふるさとを愛し 自他を大切にしながら たくましく未来を切り拓く生徒の育成



## 学校訪問指導 6月12日(木)

雲南市教委の目次先生は高校時代の同級生です。3年間同じクラスだったので、私たちは来る日も来る日も同じことを勉強していました。卒業後に出会ったのは教員になってから。理数科卒なのに私が社会科教員になったので驚いていました。勤務地域の違いから、その後もほとんど顔を合わせることはなかったのですが、今年度、彼は市教委へ、私は掛合中に。同じ雲南市。距離が近くなったので一気に話す機会が増えました。高校を卒業して42年。まさかこんな日が来るとは思ってもみませんでした。

# TeachingとCoaching

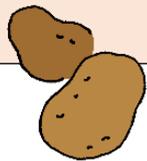
## ～授業づくりの原点～

嘉戸 洋(かどひろし)さんといえば、アトランタ五輪(1996年)男子レスリング7位入賞のトップアスリート。この4月から雲南市教委の職員、大東高校レスリング部の外部コーチとしてスポーツ振興に取り組んでおられます。先般、ナショナルチームを率いていた頃のお話を聞く機会がありました。「選手育成」のポイントを私たちの「授業づくり」に置き換えて聞いていたのですが、それは全く同じでした。授業で大切なことは、「教師と生徒、生徒相互のコミュニケーション」そして「生徒のモチベーションを高める工夫」の2つです。私たちは「Teacher(教師)」ですが、授業は「Teaching(指示)」でなく、「Coaching(支援)」ということでしょうか。

「コミュニケーション」と「モチベーション」は、まさに「おもしろい授業の創造」(←重点目標)そのものです。それは今も昔も同じだと思うのですが、ICTの活用、授業のユニバーサルデザイン化、言語活動の充実、個別最適な学びと協働学習など、授業づくりにいろいろな要素(手段や方法)が加わってきているので、私たちもCoachingを受けながらスキルアップを図っています!!



## Message from Cameron② ~じゃがいも~



イギリス料理の特徴といえば、大皿に何でも盛ってしまうこと。「ローストディナー」も「ブレックファースト」も凄いビジュアルです。でも調理法はいたってシンプルとか……

Just as Japan loves rice, the U.K. loves potatoes. Potatoes are a big part of almost all British foods and come in many forms, such as boiled, roasted, mashed, and baked to name a few. The most famous British dish is fish and chips, but others include a roast dinner, an english breakfast and a cornish pasty!

日本がお米を愛するように、イギリスはじゃがいもを愛する国です。じゃがいもはイギリスのほぼすべての料理に欠かせない食材で、茹でたり、ローストしたり、マッシュしたり、ベイクドにしたりと、様々な形で食べられます。イギリスで最も有名な料理はフィッシュアンドチップスですが、ローストディナー、イングリッシュブレックファースト、コーニッシュパステイなども人気です。

Now let's look at school. School is very different in England compared to Japan. England has primary school, secondary school and then college or 6th form. Primary school starts at reception (4 years old) and finishes at year 6 (11 years old). Secondary school is 5 years from 11-16 years old. And then college is 2 years from 16-18 years old. The school day is also much shorter from 8:45-15:15. Most children bring a packed lunch (bento) to school everyday instead of a school lunch. Most packed lunches include: Sandwiches, a piece of fruit, a packet of crisps, and maybe a chocolate bar!

Continued in Episode 3



english breakfast

ソーセージ、ベーコン、卵、ハッシュドポテト、マッシュルーム、ピーンズ、トマト、そして食パン。朝からボリュームも栄養も満点。

さて、学校について見てみましょう。イギリスの学校は日本とは大きく異なります。イギリスには小学校、中学校、そしてカレッジまたはシックスフォームがあります。小学校はレセプション(4歳)から始まり、6年生(11歳)で終わります。中学校は11歳から16歳までの5年間です。そしてカレッジは16歳から18歳までの2年間です。学校の授業時間も8時45分から15時15分と、かなり短くなっています。ほとんどの子どもたちは、給食の代わりに毎日お弁当を持ってきます。お弁当には、サンドイッチ、フルーツ1個、ポテトチップス1袋、そしてチョコレートバーが入っていることもあります。3話に続く

### 校長のつぶやき⑨(じゃがいも!!)

秋になると北海道の親戚から「じゃがいも」が届きます。小さい頃の記憶ですが、羊蹄山のふもとには一面じゃがいも畑でした。ニセコ産の「きたあかり」は絶品です。(←食べていただいた方のコメント) ここから宣伝です。十勝平野に行くと360度パノラマ地平線を見ることができます。地球の丸さが実感できます。Let's go to Hokkaido!! (つづく)